

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

冬期間は 水道の検針を休みます

—水道管の冬囲い・凍結防止を十分に—

冬期間は、降積雪のため、水道メーターの検針ができせんので、検針を休ませていただきます。
なお、この間の水道料金は推定量で算定し、雪消え後の検針で、精算させていただきます。

なお、冬期間は、水道管が雪の重みや凍結などで破損し、漏水事故が多発する時期です。水道管の冬囲いや凍結防止を十分に行ってください。



ごみ・危険物 搬出は ルールを守って

◆収集を休む日
・1月1日(火曜日)
・1月2日(水曜日)
・1月3日(木曜日)
※12月31日(月)までと、1月4日(金)以後は平常どおりに収集します。

- ①前日(夜等)は、絶対に出さないでください。
 - ②朝8時までに出してください。
 - ③交通や除雪作業の妨げにならないように決められた収集場所に出してください。
 - ④ごみ置場が雪にうずもれないようにしてしてください。
- ※お問い合わせは町民課へ(☎ 八九一三二二二)
△ごみ等の減量化にご協力を
一人ひとりのちよっとした配慮で、ごみはもっと減らすことができます。ぜひ、ご家庭でのごみの減量化にご協力ください。

スパイクタイヤ使用禁止 来年4月1日から

粉じん発生を
防止
但し、積雪・
凍結状態では
使用可

スパイクタイヤによる粉じん環境汚染等を防止するため「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律」が制定され、平成三年四月一日からスパイクタイヤの使用が禁止となります。但し、路面が積雪又は凍結状態にある場合は、使用は可能です。
なお、この法律に違反すると罰則が適用(平成四年四月一日から)されます。
また、国内主要タイヤメーカーでは、スパイクタイヤの影響を認め、平成二年十二月末日限りでスパイクタイヤの製造を中止し、平成三年三月末日限りで販売を中止します。
一方、スパイクタイヤに代わるものとして、スタッドレスタイヤの性能が向上(国の調査によれば)しており、県内でもこれによる脱スパイクタイヤが定着しつつあります。

みんなそろって投票しましょう!!
参議院議員補欠選挙
投票日は**12月9日(日)**
※不在者投票受付中
(11月21日から12月8日まで)

また、この法律ができたことも、こうした状況を前提としています。
し尿のくみ取りは
お早めに!!
毎年、降雪期を迎えてし尿のくみ取りの申込みが殺到し希望の日より遅くなりがちです。早めに処理されるようご協力をお願いします。
◆連絡先は
(尙)中越清掃社 ☎三二二九五五
(尙)前里工業 ☎六九二二八四六

人口	6,444人	平成2年12月1日現在
男	3,139人	
女	3,305人	
世帯数	1,515戸	



「縄ない」に挑戦!!

11月10日、川口中学校で学校田の収穫感謝祭が行われた。皆さんでモチをついて収穫を祝った後、縄ないに挑戦。学校田のワラを使って、お年寄りの方から手ほどきを受けながら縄をなう中学生の皆さん。

町政功労者を表彰	2~3	スポーツコーナー	10~13
生涯学習フェスティバル	4~6	川口中で収穫感謝祭	14
町の子どもの体位	7	お知らせコーナー	15~18
東京の話題	8~9		

文化の日

町政功労者を表彰

地方自治振興や教育文化の向上などに尽くされた方々に

文化の日(十一月三日)、町褒賞条例に基づく、町政功労者の表彰式が役場議場で行われた。

この表彰式は、町の政治や文化、経済、福祉などの各分野で、町政の発展に貢献された方々、衆人の模範となる方々、



表彰された方々、青柳町長(中央下)を囲んで「記念撮影」

自治行政の発展に

渡辺 政男さん
(元町職員 55歳)

昭和三十五年、町役場職員として奉職、企画課長、総務課長、運動公園事業局長を歴任、自治行政の発展に貢献された。

消防団の充実発展に

大淵 勝雄さん
(田麦山 52歳)

昭和三十三年町消防団に入団、幹部歴十五年。積極的に消防活動に取り組み、民生の安定に尽力し、幹部として、団員の規律訓練、指導など、町消防団の充実発展に貢献された。

地域の活性化と

文化の向上に

小野 庸子さん
(木沢小教頭 53歳)

木沢産の粘土を使って陶芸教室を開設、木沢焼きを確立。学習面にもこれを取り入れ、子どもたちに作る喜びを与

今年も九人の方が受表彰

今回表彰された方は、町議会議員として永年勤続し、議会議員や各常任委員長など、議会の要職を務め、地方自治発展に貢献された綱直太郎さんをはじめ、昭和四十二年から二十一年余にわたって、町営火葬場の火夫を務め、人目につかない町民生活の裏方として、献身的に尽力された関重信さん、木沢焼きを育て、作る喜びや創作活動を通して、



「町政功労者表彰式」表彰状と記念品を贈呈。

地方自治の発展に

綱直太郎さん
(川口一 77歳)

現在町議六期目。議長をはじめ各常任委員会委員長、旧小千谷市・川口町衛生消防組合議員二期、同副議長一期など議会の要職を歴任、長年にわたって地方自治の発展に貢献された。

社会教育及び郷土文化の振興に

保科 清さん
(牛ヶ島 80歳)

現在、町文化財保護審議会委員長。社会教育委員をはじめ社会教育指導員、公民館長公民館運営審議委員会など社

会教育の要職を歴任、また、文化財保護審議会委員長として郷土文化保護に活躍し、町史編さん事業にも尽力されるなど、長年にわたって社会教育の振興と郷土文化の振興に貢献された。

丸山 池治さん

(和南津 79歳)

町教育委員をはじめ、公民館長、社会教育委員長など、社会教育の要職を歴任、また、文化財保護審議会委員長として郷土文化保存に活躍し、町史編さん事業にも尽力されるなど、長年にわたって社会教育の振興と郷土文化の振興に貢献された。

農業の振興に

綱 富兵さん
(武道窪 61歳)

綱さんは、上川地区及び町土地改良区役員を歴任、土地改良事業の推進をはじめ、農業委員として、農業の生産性の向上、農業経営の合理化に積極的に取り組むなど、農業の振興に貢献された。現在農協組合長。

狛江市で

「コシヒカリ」を収穫!!

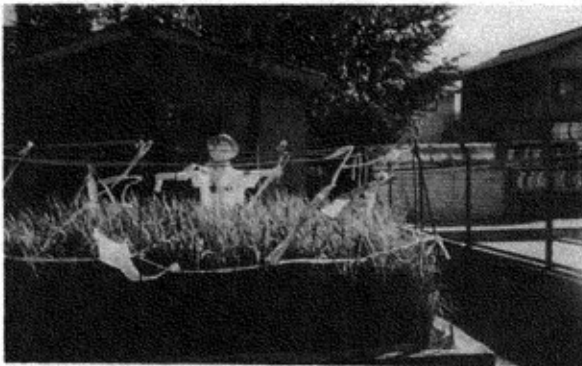
小学一年生から感謝のたより

ニ水田が残っていました。狛江の子どもたちは、コシヒカリで感激の体験をえたとです。

んでかぶっていた、ぼうしがかおになりました。おじさん、いねどうもありがとう。

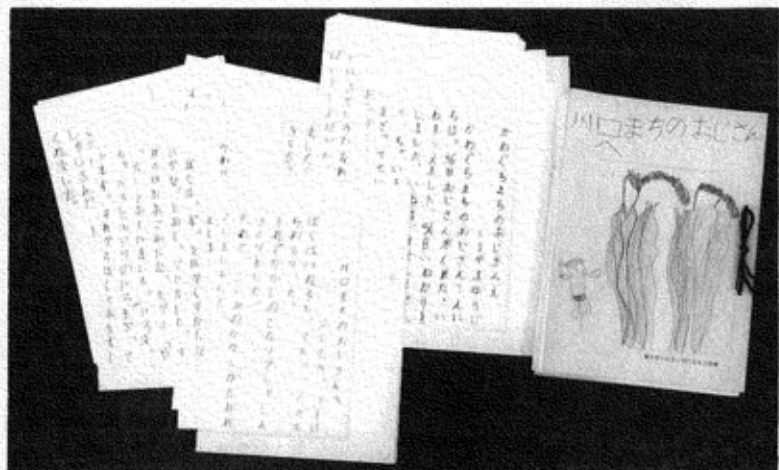
かわぐちまちのおじさん、ありがどう……と、狛江の一年生から沢山の便りが届きました。

▶狛江のミニ水田とカカシ



川口町から送ったコシヒカリの苗が、小学校一年生の手よつに植えられ、やがて穂が実って稲刈りをした。この貴重な体験のよろこびを作文にした感謝のたよりが届きました。

たよりは狛江市立第五小学校の一年生九十三人から、「田植えはたのしかった。カカシを立てました」などと書かれており、米の収穫は両手一ぱい位とか。後日市民まつりの際に同校を訪れたところ、校庭の一角に理科の観察池を利用したミ





十二行事を 集中開催

「新しい風、生涯学習」を総合テーマにした生涯学習フェスティバルは、十一月二日から五日までの四日間にわたってにぎやかに開催されました。大会発表行事三種目、展示行事五種目、スポーツ行事四種目あわせて十二種目の行事をこの期間に行い、どの行事にも「新しい風」を総合テーマに

「新しい風、生涯学習」を総合テーマに

生涯学習フェスティバル

大勢の町民が参加!!

も大勢の参加、人出となりました。このフェスティバルは自ら学習をしている人、趣味や生活がいの作品づくりやスポーツをしている人の活動成果を発表しあつて、それを見たりきいたり、また行事に参加してもらって生涯学習の理解を深め、学習意欲を高めようとするものです。今回も多くの団体やグループ、個人から参加と協力をしていただきました。



トークinかわぐち

第三回

生涯学習推進大会

パネルフォーラムと講演

フェスティバルの中心行事となった「トークinかわぐち」は、「新しいライフスタイル

を創造しよう」をテーマにして開かれ、パネルフォーラムと講演で、一般参加者も含めて生涯学習の推進について話していました。パネルフォーラムでは、「生涯学習を私はこう思う」につ



パネルフォーラムは、右から岡村比佐枝さん、小野庸子さん、山田英夫さん。左端は司会の県社会教育主事 中村さん。

いて県教育庁中村社会教育主事の司会で、三人のパネラーから発言していただきました。パネラーは、
体育協会長 山田英夫さん
木沢小教頭 小野庸子さん
エアロビクスグループ エアロビクスグループ
岡村比佐枝さん
山田さんはスポーツについては豊富な体験をもち、「スポーツに参加してこれ続けることが生涯学習だと語り、やる気のある人間になって、積極的に取り組むことが大切」と述べました。

小野さんは木沢焼の指導を担当していますが、「学ぶことがすなわち生きることだ。地域の人のかわりが私にとつて生涯学習。自分の知識を他人に解放する勇気が大切であり、学習に学歴は関係ない」と発言。
エアロビクスに取り組む岡村さんは、「女性、特に主婦が学習するには家庭の協力、地域や男性の理解が必要」と訴えました。

このあと、新潟大学助教授 齊藤勉先生の「子どもの勉強、おとなの学習」と題する講演がありました。

町民俳句大会

応募総数百十句

うち特選二、入選四十五

第二回目を迎えた町民俳句大会は十一月五日、昨年と同じく選者に大内迪子先生を招いて開かれ、応募者は二百二十人・百十句の作品が寄せられました。

入選は四十五句、このうち星野きのさん(川口三)、在京の星野雪車さん(三代吉)、上村龍夫さん(和南津)の作品が特選となりました。

特選に選ばれた上村さんは

当日の互選句会が平日のため参加者は十六名と小人数でしたが、町内各方面の方々が集まり、「あおり句会とは一味違った句も多く披露され、菊薫る秋の一日の句会は、真剣な思持ちで過せた楽しい生涯学習のひとつでした」と語っていました。

募集入選句

大内迪子先生選

特選

萩ほめて萩の話をひとしきり 星野きの
台風の真只中のしじまかな 在京星野雪車
一泊の旅を明日に妻よなべ 上村たつお

入選

芍薬の雨に傾ぐはあでやかに 丸山トシ
歙先に太鼓抱きし蜘蛛走る 丸山トシ
初螢二三飛び交ふ宮の杜 丸山以外史
孫の名で花東届く敬老日 丸山以外史
稲架並びたる故郷となりけり 丸山以外史
茗荷の子洗ふ農婦の振り向かず 丸山以外史

特選句と選評

萩ほめて萩の話をひとしきり 星野きの

通りすがりの見事な庭萩に立ちどまり、その主とつい立話をしてしまった……という和やかな風情が素直に詠まれている。萩の花の咲き様、そしてお寺の萩が何かに話が及んでいる。萩ほめて萩の話……とたんでいったところの調べもよかった。

台風の真只中のしじまかな 星野雪車

台風が来ると二、三日は吹き荒れるが、そんな中で、ふつと静かな時がある。台風の目に入ると、ぱつと晴れて台風最中であることも忘れそうになる。そんな一刻を捉えている。やがてまた吹き荒れる風への恐れも感じられる。

一泊の旅を明日に妻よなべ 上村たつお

常に黙々と働いてばかりの妻に、明日は友達との一泊のたのしい旅が待っている。心そぞろになり乍ら、主婦としての留守の家族へ不自由をかけない心使い細々とし、又、色々な夜なべをせっせとしている。そんな妻を労りをもって眺めている夫の目、人間関係の優しさが、さりげなく詠まれている。

東京の姉より加茂の梨届く 喜多村イキ
新妻と肩の触れ合ふ踊りの輪 喜多村 暁
見通しの実家へ急ぐ刈田畦 上村たつお
家建てる槌音秋天つつ抜けに 上村たつお
榎殻焼く匂ひもて来る夜の風 上村たつお
夕端居雲それぞれ形して 上村たつお
遠足の声のひびきて紅葉中 上村たつお
一山の殊に色濃き紅葉谷 上村たつお
猫の 膝に寄り来る夜寒かな 上村たつお
一刷毛の雲を遊ばせ今日の月 上村たつお
山の端に大きく出でし里の月 上村たつお
湯の宿の岩風呂に月仰ぎけり 上村たつお
道端のコスモスに蝶群れてをり 上村たつお
一鉢の小菊も染めて夕茜 上村たつお
路地奥にねずみ火花の爆ぜており 上村たつお
美術展見し昂りの落葉道 上村たつお
鈴虫の初音にめざむ床の中 上村たつお
秋の暮手を振り合つて別れけり 上村たつお
句心の日毎に燃えし葉鶏頭 上村たつお
日暮待ち西瓜提灯火をともし 上村たつお
唐辛子よりそふやうに色づきぬ 上村たつお
米寿の母編みしマフラー届けけり 上村たつお
新米を炊き神仏へ供へけり 上村たつお
採つて来し茸見くらべ婚倅 上村たつお
稲刈機見ているうちに二枚刈り 上村たつお
種袋仕舞い忘れて捜しをり 上村たつお
窓越しに百合花ほめるひとの声 上村たつお
野分して天馬に似たる雲翔ける 上村たつお
夕暮れの稲刈り終へし一輪車 上村たつお
藍染は母の形見や更衣 上村たつお
墓石にもたれ桔梗咲きをりし 上村たつお
野の草を生け螳螂の縋るまま 上村たつお
空蟬にからから風の通りすぐ 上村たつお
宅配に桜の便り添へてあり 上村たつお
老友の返事を待てる酷暑かな 上村たつお
朝顔のかぞへきれない種子つらね 上村たつお

●華やかに菊花展

恒例の菊花展は、夏の高温猛暑、秋の低温などきびしい天候条件にもかかわらず立派な作品が出品され、訪れた人を楽しませてくれました。入賞者は次のとおり。

○町長賞

小西惣太郎(川岸)

○議会議長賞

江島正直(貝の沢)

○農協組合長賞

小林 茂(川口三)

○教育長賞

富田 功(川口一)

○菊花会長賞

内藤正雄(川口一)

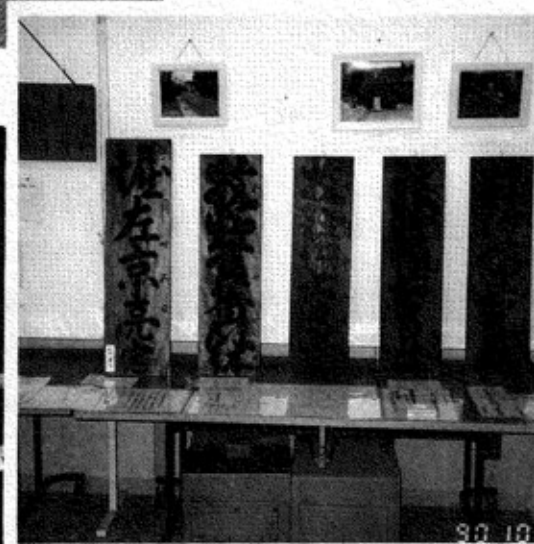


▲「町長賞」小西惣太郎さんの作品

●三國街道川口宿展

かつて三國街道の宿場であった川口。本陣の中林家に保存されている未公開の古文書や資料などで、当時の宿場と

してのようすや暮しぶりなどが解かるように解説したところ大変な注目と人気を集めました。



▲「川口宿展」本陣に立てられた立札



▲「川口宿展」

テレホンサービスの お知らせ

「ハイ県くらしのダイヤルです。」
ダイヤルしましょう
(025)28517000

- ゆで麵の試買テスト結果
 - 12月3日～12月10日 濃縮還元ジューズとは
 - 12月10日～12月17日 エネルギーは地球のタカラ
 - 12月17日～12月25日 正月料理と健康
 - 12月25日～1月7日 アンゴラ・カシミア・ラムの特徴
 - 1月7日～1月14日 カニの身の入っていない土産品のカニみそ
 - 1月14日～1月21日 お年寄りの家庭内事故が増えています。
 - 1月21日～1月28日 コンタクトレンズのいろいろ
 - 1月28日～2月4日

※石油製品の県内平均価格も情報とあわせてお知らせします。
※情報は正午に切り替えます。

町の子どもの体位は？ 「肥満型」傾向 県平均比二倍から十倍上回る

町の子供の健康状態は今どうなっている？

子供の健康の保持増進と疾病予防のため、乳幼児期から小中学生に至るまで、毎年健康診断が行なわれています。そこで最近小学生の頃より肥満児が増えてきていることがわかりました。今回は肥満について考えてみたいと思います。

小学三、四年にかけて最も多い

最も多い

児童・生徒の体位の特徴としては、身長に対し体重・胸囲の伸びが大きく、「肥満型」の体型を示すものが増えています。小学校三年から四年にかけてが最も多く、中学校女子にも目立っています。肥満傾向児の出現率を県平均と比べると、小学校では男女共約三倍、中学校では男子が三倍、女子では十倍近くと高くなっています。

肥満はカロリーのとり過ぎや成人病の原因にも

子供の肥満は注意しないと大人になってから高血圧や心臓病、糖尿病などの成人病にかかりやすくなります。最近では、子供のうちから動脈硬化や高血圧が起きていることもわかってきました。

肥満はカロリーのとり過ぎ(特に糖質や脂肪)や食生活の乱れ、運動不足が原因と考えられます。

今一度、我が家の食生活を見直してみよう。そして、次のことに気をつけて下さい。

三食規則正しく食べ

甘いものなど

とりすぎないませんか？

①栄養のバランスを考え、三食規則正しく食べていますか。一日一〜二回の不規則な食事のとり方や夜のドカ食いは肥

満のもとです。
②食事はゆっくり、よくかんで食べていますか。早食いは大食のもと。味付けも薄くすることが大切。
③おやつは三度の食事不足しがちな栄養を補うもの。ジュースや清涼飲料、スナック菓子類を取りすぎではありませんか。これらの栄養分は糖質や脂肪がほとんどです。
④身体はこまめに動かしましょう。「食事療法+運動」で、

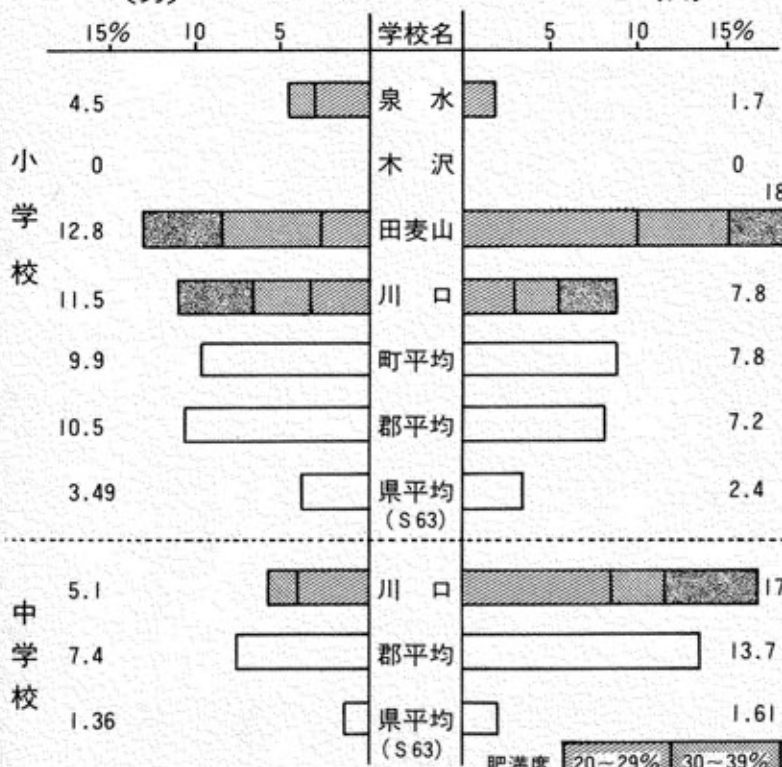
減量がより効果的になります。⑤減量は長期持久戦で、短期減量は「体重の逆戻り」がこり易い。
調理法など
今一度考え直してみよう

肥満は子供だけの問題ではありません。町の基本検診(循環器)からも肥満者の割合が五人に一人と郡内でも最も多くなっており、一方で貧

血者も他いことから、食生活に問題があることは言うまでもありません。また、栄養が高く、肥ると思われている卵・肉・魚・牛乳は、きちんと摂ってもらわなければならない食品ですが、毎日、毎食少しづつ食事に入っていますか。食事の内容、調理方法など、いま一度、家族皆さんで考えなおしてみよう。

肥満傾向児の出現率 (日比式20%以上)

(男) (平成元年度町学校保健統計から) (女)



肥満の程度を調べる際には、身体と体重の組合せによる「肥満度」で判定する。式で表すと次のようになる。

$$\text{肥満度} = \frac{\text{実測体重} - \text{標準体重}}{\text{標準体重}} \times 100$$

肥満度の判定→

※標準体重は日比式による。

区分	肥満度
軽度肥満	20~29%
中等度肥満	30~39%
重度肥満	40%以上



▲狛江市民まつり「ふれあい広場」

狛江市民に あおり太鼓を 披露

川口あおり太鼓が、市制二十周年の狛江市民まつりに参加して、みごとなばちさばきを見せてくれました。
市民まつりに参加したのは、あおり太鼓クラブの川口小学校五、六年生男女二十四人。狛江市内に一泊して、会場のふれあい広場にハッピ姿でのりこみました。
会場となった市立第一小学校の大きなグラウンドは、あふ



▲「川口あおり太鼓」みごとなばちさばきを披露

市制20周年

狛江市民まつりに

婦人みこし
あおり太鼓

友好参加!!

れんばかりの人の波、ステージに立った子どもたちは、いつものように元気よく自まんの太鼓を披露して、集った市民から大きな拍手をうけていました。
打ち鳴らす太鼓の音が狛江の街中に流れ、子どもたちは交流使節の役目を立派にはたしてくれました。

ワッショイ、ワッショイと威勢よく、そして華やかに、こちらは婦人みこしの皆さん。はち巻き、はっぴ姿も勇ましく、狛江みこし連と一緒に市中をねり歩き、市制二十周年を祝い、友好を深めた。

華やかに
お祭りを
盛り上げる

今年新調したみこしを総勢二十五人がかつき、勇壮な狛江の男子みこしに負けじと、力いっぱい頑張り、花をそえ、お祭りを盛り上げた。沿道には大勢の市民がためかけ、ひととき大きな拍手と声援が、婦人みこしに寄せられ、親迎ムード一色。あおり太鼓とともに、ふるさと友好都市のきずなを一層深め、交流使節の大役を果たした。
商工会婦人部の皆さん、ご



くろうさまでした。



▲「婦人みこし」の皆さん

お祭りを盛り上げ、友好を深める▶



▲「川口町物産展」板橋区で

東京からの便り

'90 板橋区民まつり

越後川口物産の 活気溢れる出店



清水嘉吉さん

飯の素、各種漬物、焼鮎、鮎の昆布巻等、たくさんのお品が売られ、さあーいらっしやい。

楽しく忙しかった出店

翌二十一日、今日も晴天に恵まれ朝八時から準備にかかり、いよいよ今日が本番、大いに売りまくろうと一同張り切って出店。笹だんごを蒸す湯気、立つ笹のにおいと鮎を焼くほのかな香のただようのに引かれるよう客足がとどまり買っていく。昨年同様笹だんごがおいしかったので今日も買いに来ました」と言う人も多勢いました。

昼頃より黒山の人だかりとなり、道路も狭くなる程で、故郷出身の婦人二名も手伝を頼み楽しく賑やかに精いっぱい売りまくりました。景品のホーズキは年配の方に喜ばれ、アケビやナツメは若い人達に珍らしがられ、子供が笹だん

ごを買ってと、親にせがむほほえましい情景がしばしば見受けられ、幼い頃の田舎のお祭を思い出しました。県人の懐かしい顔ぶれが集い、田舎言葉がはずみ、故郷の味や思い出話に花が咲き、大笑いの満ち溢れる楽しさがいっぱいになり、また板橋の区民祭り担当責任者の文化部長佐藤廣さんもおいで下さって、「私も新潟県人ですよ」と労をねぎらう等、暖かい心のふれあいで心もなごみ、同県人のよしみで買物する人がたくさんいました。

賑わった二日間

お祭の賑わいは最高潮に達し、黒山の様な人ごみで売行はずばらしく、私達も気をよくして時の立つのも忘れてい

る。そのうちに各種行事の終わりの時間となり、十七時閉店が告げられ、店仕舞の準備をすることになりました。今年はず昨年と比べ、閉店時間が早かったので売れ行きを心配していたにもかかわらず、鮎も評判がよく全部売れ切れ、その他の品も大半売りつくし去年を上まわった売上に安どの胸をなでおろしました。皆さんはほっと一息つき、お互に御苦労さんでしたと言葉を交し、ほんとうによかったと大成功を納めたことを喜び合い十八時帰郷準備に入りました。
こうしたことの出来たのも青柳町長を始め、町役場の御尽力や、川口物産や皆様方の御協力の賜と深く感謝申し上げます。
十八時、車の出発となり、またのお会いを約し握手を交し、別れを惜しみながら車が会場を去っていくのを振り見送りました。夢の様な賑わった二日間、来年も工夫をこらし一層売上を伸ばしたいものです。宜しくお願い申し上げます。皆様方ほんとうに御苦労様でした有難うございます。

郷土物産に 人気集まる

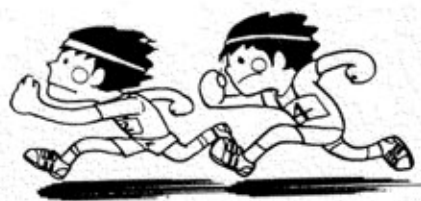
新潟県人会を代表して「東京川口会」より越後川口物産の笹だんご、米チマキ、山菜

十月二十日(二十一日)、板橋区民五十万人総参加のもとに連帯を深め「活力ある緑と文化のまち板橋」の発展と、心ゆたかなふるさとづくりをめざし、「区民まつり」が開催され、東京養育院前の「ふるさと広場」には各県人会の物産店十四店が競い、賑わいました。

と威勢のよい呼声中、板橋区民や新潟県出身者がどっとおしよせ、一時の開店を待ちきれず買っていく。上々の売行き。町役場から総務課長の保科正紀さん他四名、川口物産より丸山省三さん他四名、声をはりあげ、それは忙しく昼食する暇なく売り込みに一生懸命。私も売子になって。越後名物笹だんご、うまいよう

と大声で呼び、知人・友人の立寄りに応対し、閉店十八時三十分迄、歓喜の中に汗だくの活躍で一日目を終了、跡始末をして引き上げました。

親善交流



狛江わんぱく駅伝 初参加の女子チームが一位



▲初参加で一位、男女総合で十一位の好成績をあげた女子の「若竹チーム」



▲三位の「若鮎チーム」男子を例年のとおり好成績
▼十位の「青葉チーム」



わんぱく駅伝参加選手				(発走順)			
区間	学年	かわぐち若鮎チーム	かわぐち青葉チーム	かわぐち若竹チーム	かわぐち若鮎チーム	かわぐち青葉チーム	かわぐち若竹チーム
1区	3年	平沢 裕	川口小	小見 友彦	田麦山小	中 林 聡美	川口小
2区	//	小宮山 洋介	//	綱 善行	泉水小	保科由美子	泉水小
3区	4年	喜多村 考志	//	森山 雄治	田麦山小	関 温子	川口小
4区	//	岡村 英尚	//	宮 章雄	泉水小	阿部 文子	泉水小
5区	5年	星野 栄亮	//	石坂 淳一	田麦山小	星野 かおり	木沢小
6区	//	関 裕樹	//	小林 友和	泉水小	内山 たか子	田麦山小
7区	6年	菅原 隆行	//	渡辺 実	田麦山小	渡辺 真理	川口小
8区	//	渡辺 祐也	//	綱 佳人	泉水小	森山 智子	田麦山小

監督…小林 浩 選手会長…渡辺祐也

狛江市一周わんぱく駅伝大会に、今年も当町から三チームが友好参加、約四百人の狛江児童と交流を深めました。

**今回で四回目
三チーム
二十四人が参加**

この大会に参加するのはこれで四回目。今年も女子チームも参加して三チーム二十四人の出場で、これまで参加したことのない新人ばかりでチームを編成、なるべく大勢の児童が体験できるように交流事業を進めています。

**堂々と実力を発揮
親善の役目果たす**

青柳町長の見送りをうけて出発した選手たちは、狛江に到着してただちにコースの下見、夜は寝つかないで引率の人を困らせましたが、レースでは都会の子どもにまじって堂々と実力を発揮してくれました。

コースは、交通量の多い大通りをさけて、市街地や住宅地の小路や多摩川の堤防の上などで、全区間とも起伏がなく平坦な約十三キロメートル。

川口の三チームはスタートから好走して、参加三十八チーム中、若鮎チームは三位、青葉チームは十位の好成績。初参加の女子若竹チームは他の女子チームを大きく引きはなしてダントツの一位、男女総合でも十一位の健脚ぶりをみせ、川口チームは応援に駆けつけた家族や市民から大きな拍手をうけ、親善大使の役目を果たしました。

参加した三チームの選手たちは、見知らぬ東京で狛江の子どもの出合いを体験し、狛江の街なかをのびのびと走り、交流というすばらしい感動と思いを味わったことと

思います。

第26回全国身体障害者スポーツ大会

とびうめ国体

綱 正樹くんが

銀メダルを獲得



▲喜びの綱 正樹くん

念願であった国体出場を果たすとともに、大会では自己ベストを上回る記録を、四センチ更新するという頑張りを見せ立派な成績を上げ、銀メダルを手にした。

国体出場への 夢が実現……

成功させよう—ときめき—出会い—みなぎる力をスローガンに、皇太子殿下をお迎えして、第二十六回全国身体障害者スポーツ大会（とびうめ国体）は、十一月三日〜四日の二日間にわたって福岡市と北九州市の会場で開催され、町内から砲丸投げに出場した綱正樹くん（武道窪）が、障害を克服し大健闘。見事準優勝に輝き、銀メダルを獲得するという快挙を成しとげた。

綱くんは、現在上越養護学校高等部三年生で十七才。同国体の県代表選手十六人の中

彼は三歳の時、交通事故にあい二カ月余り意識不明の状態が続き、医者も一時はあきらめるほど生命が危ぶまれた。懸命の治療と彼の生命力の強さにより奇跡的に命をとりとめるといふ大きな事故に見舞われた。しかし、体の右半身の不自由と言語障害が残った。こうした障害の中で、特に小学校入学当時は、お母さんが付き添い、学校で一緒に机を並べて授業を受ける日が二年近く続いた。家族皆さんで励まし、温かく見守る中、彼は

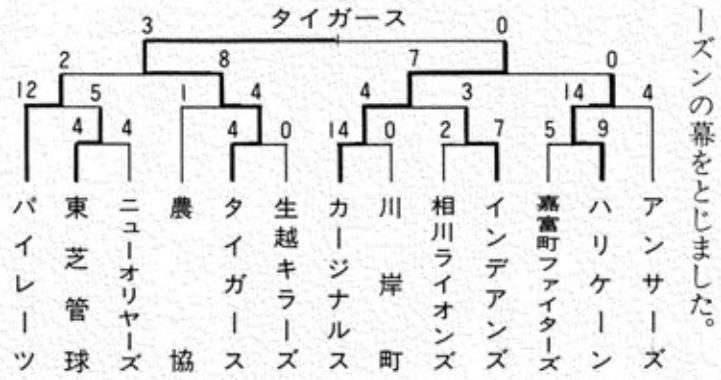
頑張りやと明るい性格の子どもとして育ち、障害をのり越えていった。中学に入ったときも、その頑張りやから野球部を希望するほどで、結果的には陸上部に入部、コソコソと自分の体を鍛えた。そして同養護学校に入った時、友達で同僚の先輩が、陸上で国体に出場したことを聞き、自分も国体選手になろうと大きな夢を抱き、毎日昼休みや放課後に砲丸投げの練習に励んだ。そして一年生から三年生まで連続して県大会に出場するなど、めきめきと力をつけ、念願の国体選手に選ばれた。

正樹くん 「お父さんやっただぜ」とVサイン

大会の日、正樹くんのお父さんも同行。福岡市の県営森競技場のスタンドで、息子の砲丸投げを、じっと見守っていた。こんな大きな大会で、ブレッシャーがかかり、うまく投げられるだろうか、心配しながらだ。でも彼はブレッシャーをはねかえし、堂々と力いっぱい投げた。プレーが終わる選手控室に引き上げ

ていく正樹くんを見てお父さんはホッと一息。そんな中でお父さんは次のように語ってくれた。

実は、正樹が準優勝をし、表彰台に上がり、銀メダルをもらったことを知らなかったのです。大きな会場で大歓衆の中、放送の声もよく聞きとれなかったのと、まさか入賞するとは夢にも考えていませんでしたから、ただ無事に投げ終わったことだけで胸がいっぱいでした。準優勝を知ったのは、正樹を迎えに選手控室にいった時、競技関係者から、正樹くんのお父さん準優勝おめでとうございますと言われて始めて知りました。正樹もお父さんやっただぜとVサイン。そこで、これは夢ではないと分かり、正樹おめでとうと祝福した次第ですと、そして、表彰台に上がった息子の晴れの舞台を見ることができなかったことが残念でしたと話し、でも息子は頑張りやで、やろうと思ったことはやりとげる子です。この国体の体験を生かして、障害に負けず、力強く進んでいってほしいと笑顔で語ってくれました。



協会長杯野球大会 優勝はタイガース

今シーズン最終の大会となる協会長杯野球大会は、十三チームが参加して行われ、タイガースが優勝を手にしました。町民野球は春から四大会の日程をすべて消化してシーズンの幕を閉じました。

その正樹くんは来春卒業。就職も町内の会社（クローン㈱）に内定し、銀メダルは一足早い両親への大きなプレゼントとなりました。

川口中で収穫感謝祭

稲作体験も発表

全校生徒が、田打ち、田植 え、そして稲刈り、はざ架け と、学校田の稲づくりに取り組んできた川口中では、十一月十日(日)収穫を感謝し、モチをつけて皆んなで祝った。

収穫感謝祭は、川口中の伝統的な行事の一つで、生徒自ら進んで稲づくりを体験し



▲皆んなでモチツキ



▲お父さんも張りきる。

この日、PTAのお父さん

田打ち苦勞を知る

三—A 丸山正道

四月中に行われた田打ちでは、機械を使わず自らの手で田を耕し、昔の人々の苦勞がうかがわれました。はじめ、Aがやって次にB・Cという順番でやりました。僕は、はじめて「田を耕す」ということをやりました。全々知らないのでも星野先生から「向く方向がわるい」と言われ注意されました。みんなは、田に入るとき裸足で入っていましたが、僕は靴

稲刈り、稲運び

三—A 渡辺里美

私達三年生は、先生の説明を聞き、いよいよ田んぼで稲

をはいたままやったのでよこれてしまいました。初めは硬い土で鎌の先を入れても抜けなくて、手が赤くなりました。だんだん進むにつれて田んぼが水浸しになっていたので靴がもつとよごれてしまいました。他のクラスの人で、とても上手な人もいました。鎌の木が折れたり、鉄の部分が抜けたりもしました。それほどみんなが一生涯懸命にやっていたということでしょう。

刈りを始めました。私は、主に稲はこびをしませんが、稲をかっている人はとても楽しそうでした。でも刈るペースが早いので、稲をむすぶ人は、ちょっと忙しかつたみたいです。その日は雲り空だったので雨が降りそうでしたが、降らなかったのが良かったです。

今、僕たちのスピードでは、昔の人々とは違って、全々たく比較にならないと思います。昔の今より田の面積が広いので大変な苦勞があったと思います。実際、昔の昔の苦勞を目のあたりにすることは出来ませんが、あらためてお年寄りに聞くのも勉強になるので打ちは通じて、昔の人達の偉大さを知り、とても良い経験になりました。

今年も、昨年と同じくらいに、たくさんのお稲を収穫できたと思います。私の家にも、田んぼはありますが、機械で稲をかるので、あまり手伝をしません。それにくらべて学校では手でかるので、みんなと協力しながら、楽しくできるの、とてもいいことだと思います。それに、出来あがった米で、もちをつけて食べるのは、苦勞しただけあって、とてもおいしいと思います。昔の人も同じように手で作っていたので大変だったと思います。

作業をするのは大変だけどみんなが協力することは、いいことなので、これからも、ずっとつづけて欲しいと思います。

◆年末年始の交通事故防止◆

交通のルールとマナーを一人一人が正しく実践

◆ 昨年の死者数を上回る勢い

今年も、交通事故による死者が、一万一千人を超えた昨年を上回る勢いで増加しています。年末年始は、例年、車の量、人の流れが多くなります。特にこの時期は、気分的にも慌ただしくなり、先を急ぐあまりスピードを出し過ぎたり、忘年会などの飲酒の機会も多くなることから、速度超過、信号無視、飲酒運転などによる交通事故の多発が懸念されます。

★ドライバーの皆さん、くれぐれもスピードは控えめに、ゆとりをもって安全運転に心がけてください。また、飲酒運転は絶対にやめましょう。★歩行者の皆さん、飛び出しや車の直前直後の横断は危険です。道路を横断するときは必ず横断歩道を渡りましょう。

交通安全は家庭での話し合いから

昨年は交通事故により一万一千人余りの方が死亡し、八十一万人余りの方が負傷しました。

最近の交通死亡事故の特徴

- ①自動車乗車中の死者が、大幅に増加しています。
- ②若者(十六歳から二十四歳)と高齢者(六十五歳以上)で、全死者数の過半数を占めています。
- ③若者の死者の九割以上が、自動車・二輪車乗車中です。
- ④高齢者の死者の七割以上が、歩行中・自転車乗用中です。
- ⑤週末や、夕方から夜間にかけての死亡事故が多発しています。
- ⑥自動車乗車中の死者の七割以上は、シートベルトを締めていなかった方です。



暮らしのツボポイント

障子の張り替えは、お正月を気持ちよく迎える、暮れの大事な仕事です。古い障子紙を上手にはがすには、水で紙を濡らした後に、大根おろしの汁を筆で紙に塗ります。汁に含まれているアミラーゼの働きで、古いノリのでんぷんがゆるみ、紙がはがしやすくなります。この後、紙に残っている紙やノリをきれいにふき取って乾かしますが、日陰で乾かさないと、障子の骨組みにずれが生じます。

障子の張り替え

次は障子紙の張り替えですが、ハケにノリが垂れない程度にとり、紙にトンとたたきつけるように、まんべんなく付けるのがコツ。障子紙は、紙の合わせ目にホコリがたまったり、ハタキをかけたときに、はがれないように下から張っていくのが常識ですが、障子を上下逆さにして張っていくと、下から張っていくのと同じになります。張り終わったら、紙からはみ出た余分の紙を、ノリが乾かな

下から紙を張っていく

いうちに、カッターなどで切り取ります。張り上がったら、まんべんなく全体に霧吹きをします。乾いたら、紙のしわが伸びてピンと仕上がります。ただし、化学繊維の入った障子紙の場合、霧吹きが必要はありません。ところで、寒天を薄くといいて、ハケで障子全体に塗ってあげると、障子紙が丈夫になります。このとき、障子紙が乾かないように寒天を塗ると上手に塗れませんし、破れますから乾いてから塗りましょう。さて、日に焼けた障子は、見た目にもよくないし、部屋も薄暗くなります。コップ一杯の水に、洗濯ノリを小さじ一杯、それに漂白剤を少量加えた液を作り、霧吹きて全体にむらなくスプレーします。漂白剤で、障子紙は白く再生されます。



国民年金

20歳以上の学生にも 加入義務

来年四月一日から……

車社会と呼ばれる現代で、いちばん怖いものは交通事故です。毎日のように起きる交通事故は、多くの人に不幸をもたらします。

また、事故の多くは二十歳の若者で占められており、その中には大学生も多く見られます。

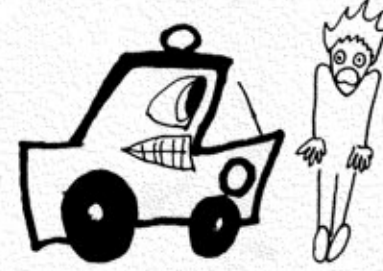
しかし、多くの大学生は交通事故などで重度の障害者になっても、国民年金から障害基礎年金が受けることができ、老後においても満額の老齢基礎年金が受けられません。

その理由は、二十歳以上の大学生は、国民年金の加入を本人の意思に任せていることから、加入していない大学生が大半を占めているからです。そこで昨年、国民年金制度の見直しを行い、その中で、「平成三年四月から二十歳以

上のすべての学生は、国民年金の加入を義務付ける」という規定を盛り込み、学生に対する年金保障を完備することとしました。

国民年金に加入する方は三種類
さて、あなたは？

国民年金に必ず加入しなければならぬ人は、日本国内に住所がある二十歳以上六十歳未満の人たちで、次のようになります。



国民年金に加入の届出をして保険料を納めなければなりません。加入者の届出は、あなたの住んでいる役場の国民年金の窓口です。

あなたは、第1号被保険者です。
農業、自営業などの日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満の方

国民年金に加入の届出は不要です。保険料は、厚生年金保険、共済組合から必要な額だけ拠出金としてまとめて支払われますので、納める必要はありません。

あなたは、第2号被保険者です。
厚生年金保険、共済組合に加入している方

国民年金に加入の届出が必要ですが。保険料は、配偶者(夫または妻)の加入している年金制度でまとめて負担しますので、納める必要はありません。

あなたは、第3号被保険者です。
厚生年金保険、共済組合に加入している方の扶養になっている配偶者で20歳以上60歳未満の方

国民年金に加入の届出をして保険料を納めます。加入の届出は、あなたの住んでいる役場の国民年金の窓口です。

あなたは希望して加入(任意加入者)することができます。
※学生については、平成3年4月から強制加入になります。

私は……
●農業・自営業者・自由業者である。
●勤め先に年金制度がない。
●配偶者(夫または妻)が厚生年金保険、共済組合に加入しているが、所得があるため扶養になっていない。
●無職(失業中、病气入院中など)である。

私は……
会社、官公庁に勤めていて、勤め先で厚生年金保険、共済組合に加入しています。

私は……
配偶者(夫または妻)が会社・官公庁に勤め、厚生年金保険、共済組合に加入していて、その扶養になっています。
※主にサラリーマンの奥さん。

私は……
●全日制の学生(各種学校の生徒も含む)です。
●厚生年金保険、共済組合から老齢又は遺族年金を受けている。

◆年末年始の犯罪防止◆

慌ただしい時期の ちよっととした心のスキに用心

年末年始は、空き巣ねらいやスリの「稼ぎどき」です。平成元年中における窃盗犯は、全刑法犯の八九%を占め、約百四十八万件にも上りました。これは前の年に比べ、約六万件も増えています。

特に、一年の締めくりである十二月は、正月準備などで慌ただしい時期です。家を空けることも、お金を持ち歩くことも多くなってきました。そんな気ぜわしさのちよっとした心のスキを、ドロポウはねらっているのです。

ほかに、もう一つ補助錠を取り付ける。ワンドア・ツーロックにしておきましょう。補助錠を付ける場所も、頭の高さやひざの位置などに取り付けるのがよいでしょう。空き巣ねらいは、錠を破るときなど、不自然な姿勢になることを嫌うからです。「カギかけは家族みんなの合言葉」——ほんのちよっと外へ出るときでもカギをかけ、また、隣近所にひと声かけることもお忘れなく。

た車を使った犯罪が多くなっています。「ほんの二、三分だから……」と思っても、車から離れるときは必ずキーを抜いて、ドアをロックするようにしましょう。盗難に遭った車の約六五%は、キーの抜き忘れが原因で被害に遭っています。

また、車を止めておくときは、管理の行き届いた駐車場か車庫に、道路上や空き地などに止めておかないようにしましょう。

盗まれた車のうち、三分の一は道路上で盗難に遭っているのです。

い初もうでなどに出かけるときは、必要以上の現金や貴重品を持ち歩かないことです。また、銀行などの預貯金や引き出しには、二人連れだつて行くようにしましょう。また、現金をハンドバッグなどに入れて持ち歩かなくてはならないときは、しっかりと胸に抱えるようにして持ちましょう。特にショルダーバッグで持ち歩くときは、細心の注意が必要です。自転車や自動車でも後ろから忍び寄せられ、ショルダーバッグごとひったくられるといった例が少なくありません。

また、財布をズボンの後ろポケットに無造作に入れている人を見かけますが、これはたいへん危険です。スリに目をつけられやすいのでやめましょう。

外出前、おやすみ前には カギのかけ忘れに注意

家庭における被害で多いのが、空き巣と忍び込みです。これらの半数近くは、カギのかけ忘れから起こっています。

外出する前、おやすみ前には、カギのかけ忘れがないかどうかを点検する習慣を身に付けましょう。

また、帰宅や旅行などでは、玄関を空け、牛乳や新聞が玄関

にたまっていてるのは、ドロポウに留守を教えているようなものです。新聞などの販売店に配達を一時中止をお願いしましょう。

カギは主錠のほかにも補助錠を取り付ける



十二月になると増えるのが、スリです。警察による特別警戒中にもかかわらず、例年、ふだんの月より被害件数が多くなっています。

また、ひったくりにねらわれやすいのが、銀行などからの帰り道や、人通りの少ないところなどです。なかでもお年寄りや女性がねらわれやすく、被害に遭わないためには、次のような自己防衛が必要です。



車を離れるときは
キーを抜いて

自動車の盗難と、その盗まれ